非エンジニアのための Gemini CLI

AI でコンテンツ作成を 爆速化しよう。!。c, useRef) from 'react';

```
Const WITTY_LOADING_PHRASES = {
Feeling Lucky",

if 't panic.

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社de).
マーケティング本部 the cogs of the machine.

マーケティング本部 the cogs of the machine.

Google Cloud 担当部長all sne's got Captain!",
going the distance, I'n going for speed...",

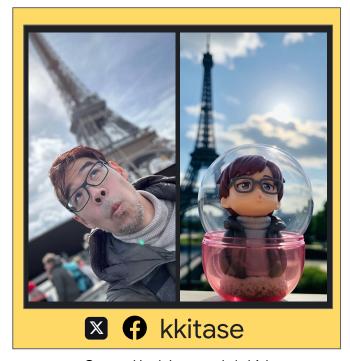
北瀬 公彦 fre got a good feeling about this...",
```

2025/09/16

const PHRASE_CHANGE_INTERVAL_MS = 15000;

witho both to grates profits through Toating shoeses





Created by labs.google/whisk

Google Cloud Japan のマーケティングチームで、AI、アプリ開発、インフラといった領域を担当。

日系 Sler、Citrix Systems、IBM、Hortonworks で、 開発、テスト、プリセールス、サポート、 マーケティングなど、幅広い業務を経験。

現在は、日本の企業の皆さまが AI、クラウドを最大限に活用できるよう支援。

Google Cloud ブログ、技術記事や技術書も多数執筆。

AIツールの利用率は、2月調査時よりも軒並み大きく上昇。 一方でChatGPTやClineなど一部ツールについては公式利用を中止するケースも出てきている。

設 間 以下のAIツール・機能・技術について、貴社の開発組織において公式に導入・活用している状況についてお選びください

	今回(2025年	今回(2025年7月 開査)		****
	使っている	使っていたがやめた	(2025年2月 嗣查)	前回からの増減
Gemini	85.5%	0.5%	51.6%	33.9%
GitHub Copilot	82.3%	8.6%	73.4%	8.9%
ChatGPT	73.2%	10.0%	81.4%	-8.2%
Claude	67.7%	1.4%	30.3%	37.49
NotebookLM	66.8%	2.7%	20.2%	46.69
Cursor	66.4%	2.7%	31.4%	35.0%
Devin	55.5%	8.6%	20.2%	35.3%
Dify	28.2%	6.4%	17.6%	10.69
LangChain	20.9%	5.9%	11.7%	9.2%
Perplexity	16.4%	11.8%	11.2%	5.29
Cline	16.4%	20.0%	6.9%	9.5%

Agenda

Gemini CLI とは	01
Gemini CLI 基本機能	02
Gemini CLI ベスト プラクティス	03
Gemini CLI でブログを書く	04
Gemini CLI でスライドを作成する	05
Gemini CLI でビデオを作る	06

Gemini CLI

最先端の AI を ターミナルに直接統合する 軽量で強力かつアクセスしやすい オープンソースの CLI ツール

≒ 汎用 AI エージェント



Gemini CLI の特徴

01

コードとファイル

コードを生成し、 ファイルを管理 02

ツールの呼び出し

他のツールや MCP を呼び出し、ローカ ル開発の管理、テストの 実行、 クラウド サービス連携を 実行 03

他のアプリとの連携

VS Code などと連携し、 アクション実行やコンテ キストを収集が可能 04

包括的なコンテキスト

プロジェクトファイル、 データ、さらにはイメージ も含め、最も適切かつ効 果的な サポートを提供

Gemini CLI の基本機能

設定ファイル: settings.json

認証方式やテーマ、MCP 等の設定を指定

階層構造

下の設定が優先

- 1. デフォルト値
- 2. ユーザ設定 (~/.gemini/settings.json)
- 3. プロジェクト設定 (.gemini/settings.json)
- 4. システム設定 (/Library/Application Support/GeminiCli/settings.json)
- 5. 環境変数
- 6. コマンドライン引数

```
.gemini/settings.json
  "theme": "VS2015",
  "sandbox": "docker",
  "toolDiscoveryCommand": "bin/get_tools",
  "toolCallCommand": "bin/call_tool",
  "mcpServers": {
    "mainServer": {
      "command": "bin/mcp_server.py"
    "anotherServer": {
      "command": "node",
      "args": ["mcp_server.js", "--verbose"]
```

Context Files / Memory (GEMINI.md)

- プロジェクト概要、コーディング規約、ガイドラインなどを管理
- @<file_path>で複数のファイルを import 可能
- /memory show で現在の状況を確認

<u>階層構造</u>

- ~/.gemini/<u>GEMINI.md</u>
- <project_root>/<u>GEMINI.md</u>
- <project_root>/<sub_dir>/<u>GEMINI.md</u>

.gemini/GEMINI.md

GEMINI.md

SYSTEM_PROMPT: "あなたは Google Cloud Japan 所属、熟練の IT ライターです。記事の執筆、編集、校正を下記のガイドラインに従って正確に行ってください"

スタイルガイド:

- ポジティブなトーンで記述してください。
- Google **の公式ブログ**で使われるような、自然で分かりやすい日本語を使用してください。
- 文法的に正しく、論理的で理解しやすい文章を作成してください。
- 英数字は半角で表記してください。

基本コマンド

<u>スラッシュコマンド(/)</u>

ビルトインの汎用コマンド

> /tools

バージョン表示 /about Github に Issue をレポート /bug /docs CLI のドキュメントを開く デフォルトエディターの選択 /editor ヘルプの表示 /help /quit Gemini CLI を終了 トークン消費量を確認 /stats UI のテーマ選択 /theme 利用できるツールを表示 /tools

シェルモード(!)

シェルを直接操作するためのコマンド

> !ls -la

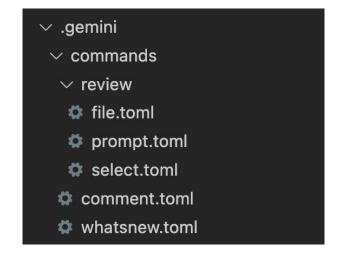
> !pwd

> !git status

カスタムスラッシュ コマンド 概要

頻繁に使用するコマンドをGemini CLI 内の個人用ショートカットとして保存し、再利用可能

- ファイルの場所
 - o グローバル コマンド ~/.gemini/commands/
 - o プロジェクトコマンド <your-project-root>/.gemini/commands/
 - コマンド名が同じ場合はプロジェクト優先
- コマンド名
 - ~/.gemini/commands/review/file.toml -> /review:file
 - ~/.gemini/commands/comment.toml -> /comment



カスタムスラッシュ コマンド 作成方法

コマンド定義ファイルは TOML 形式で記述

- フィールド
 - description (Optional)
 - /help メニューに表示される、コマンドの説明
 - 省略した場合は、ファイル名から自動生成
 - prompt (Required)
 - Geminiモデルに送信するプロンプト本体
 - 単一行、複数行どちらでも記述可能
- 引数の処理
 - {{args}} でプロンプトの後の入力したテキスト

```
.gemini/git/fix.toml
...
description = "選択したテキストを校正する"
prompt = """
下記のテキストを、添付のスタイルガイドに従って校正してください。
スタイルガイド: /Users/kkitase/.gemini/style.md
テキスト:
{selected_text}
```

MCP サポート

MCP をサポートし、様々な サービスとの 連携が可能。

"柴犬が渋谷を旅する、24 秒の ショートムービーを作成してください。まずシナリオを考え、次にキー となる画像をいくつか生成し、それらを基に動画を構成してください。"

```
.gemini/settings.json
"selectedAuthType": "vertex-ai",
"contextFileName": "GEMINI.md",
"mcpServers": {
 "veo": {
   "command": "mcp-veo-go",
     "GENMEDIA BUCKET": "vivecoding-genmedia",
     "PROJECT ID": "vivecoding"
"preferredEditor": "vscode",
"theme": "Default Light"
```

Gemini CLI ベスト プラクティス

Context Engineering

Gemini CLI の挙動や精度は、

コンテキストを適切に管理することで 向上させることができます。

コンテキストを提供する主な方法

- Context Files / Memory (GEMINI.md)
- 2. Conversations

コンテキストとは、Gemini CLI がユーザーの意図を正確に理解し、的確な応答を生成するために必要とする「背景情報」のことです。

セッションでのコンテキスト

Context Files

(GEMINI.md)

※ 複数選択可能



会話の履歴

(例: style.md)

- ※ /compress で時々圧縮可能 ※ @コマンドでファイルやディレクトリ
 - を読み込ませることも可能



最新の prompt

会話履歴

会話履歴はセッションごとに管理され揮発性(=/quit すると消える)。

必要に応じて、GEMINI.md やドキュメントに永続化して再利用。

/chat

あるタイミングの会話を保存 / 再開。 一時的に今のタスクと違うことをしたいときに。

At commands (@)

@<path_to_file_or_directory> と入力し、指定したファイル / ディレクトリをプロンプトに含める。

/clear

画面上と会話履歴をクリア。 新しいタスクを開始したい場合に。

/compress

会話を圧縮し、コンテキスト ウィンドウを空ける。

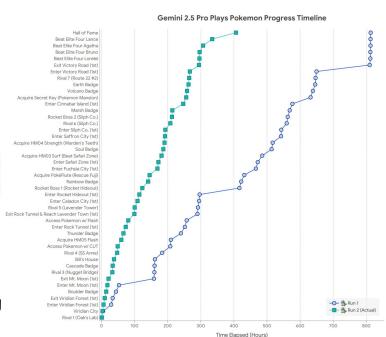
参考:コンテキストとの付き合い方

Google DeepMind による

Gemini にポケモン青をプレイさせる動画の考察レポート

Gemini 2.5: Pushing the Frontier with Advanced Reasoning, Multimodality, Long Context, and Next Generation Agentic Capabilities.

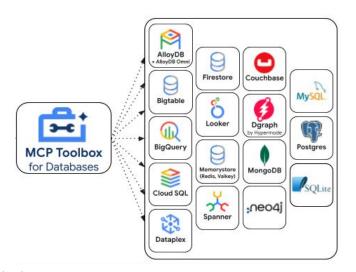
- 10 万トークンが成功の鍵:
 - 10 万トークン程度のコンテキストを処理する能力が成功 の礎だった。
- 長すぎるコンテキストの問題:
 - コンテキストが10万トークンを大幅に超えると、 AIは新しい計画を立てるのではなく、過去の膨大な行動 履歴の中から行動を繰り返す傾向が見られた。



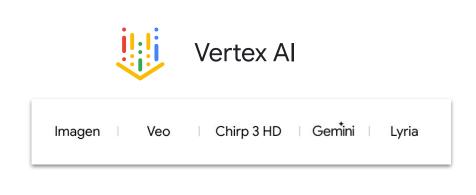
MCP Server の活用

MCP サーバーを使用することで Gemini CLI の機能を拡張してデータベース、API、カスタム スクリプト、特殊なワークフローとのやり取りなど、組み込み機能を超えたアクションを実行可能

MCP Toolbox for Databases



MCP servers for Genmedia



MCP Server

- Firebase MCP Server
 - o github.com/firebase/firebase-tools/tree/master/src/mcp
 - Firebase における Firestore や Firebase Auth など個別サービスの操作が可能
- Google Security Operations and Threat Intelligence MCP Server
 - o github.com/google/mcp-security
 - SecOps、GTI、SCC の情報取得が可能
- VertexMemory Google Vertex AI / Vector Search MCP Server
 - github.com/google-octo/google-vertex-vector-search-m
 cp
 - Vector Search における Memory Object の追加や Search などが可能
- GKE MCP Server
 - github.com/GoogleCloudPlatform/gke-mcp
 - GKE リソースへのアクセス

- その他の MCP Server マーケットプレイス
 - o github.com/punkpeye/awesome-mcp-servers
 - o github.com/modelcontextprotocol/servers

VS Code Integration

- VS Code との接続で、開いている ファイルと選択範囲を認識可能
- コード提案を VS Code 内で 差分表示でき、差分表示内で承 認前にコードを変更可能

Diff の並列表示

```
app.py ↔ Modified ×
 app.py
10 # A button to let it snow 🬧
                                                                      # A button to let it snow 🥋
    if st.button("Send snow! &"):
                                                                       if st.button("Send snow! %"):
        st.snow()
                                                                           st.snow()
                                                                         st.button("Celebrate with balloons! *"):
                                                                           st.balloons()
                                                                   18 # Sidebar for user inputs
   with st.sidebar:
                                                                       with st.sidebar:
        st.header("Dashboard Controls")
                                                                           st.header("Dashboard Controls")
                                                                                                 ∑ Gemini CLI + ∨ □ ··· | □ ··· | □ ×
PROBLEMS OUTPUT DEBUG CONSOLE
+ Got it. I'll add a new button to release balloons in your Streamlit app.

    ReadFile app.py

  ? Edit app.py: # A button to let it snow ... => # A button to let it snow ... =>
   ... first 4 lines hidden ...
   15 + if st.button("Celebrate with balloons! ?"):
          st.balloons()
      # Sidebar for user inputs
       with st.sidebar:
           st.header("Dashboard Controls")
```

Demo

Gemini CLI で ブログを書く

手順

- 1 自分の過去のブログや、サンプルになるブログを保存する
- 2 ワークフロー定義ファイル GEMINI.md を作成する
- 3 文体ガイドライン style.md を作成する
- 4 参考になる資料を集める(NotebookLM や Deep Research)
- 5 Gemini CLI に記事を書いてもらう
- 6 人間の手で清書する
- 7 IDE Gemini CLI を使って効率的に校正する
- 3 ブログに貼るイメージ・動画・GIF を作成する

Demo

Gemini CLI で スライドを作成する

手順

- 1 自分の過去のブログや、サンプルになるブログを保存する
- 2 ワークフロー定義ファイル GEMINI.md を作成する
- 3 文体ガイドライン style.md を作成する
- 4 参考になる資料を集める(NotebookLM や Deep Research)
- 5 プロンプトで GAS を作成し、ドラフトを作成する
- がイドラインに沿った翻訳をする
- 7 Gemini CLI で校正する
 - Gemini CLI でスライドノートを作成する

Demo

Gemini CLI で ビデオを作る

AI エージェントによる動画生成

茶猫がオーストラ リア中を旅する 30 秒の動画を 作って



AI エージェント

Veo は 8 秒動画しか作成できないので、まず画像を生成し、8 秒動画と、8 秒の音声を 4 本づつ作成して、最後に合成するプランを作成。

Gemini 2.5

シナリオ 1: xxx シナリオ 2: xxx シナリオ 3: xxx シナリオ 4: xxx

Google Cloud

Imagen 4 画像生成 Veo 3 動画生成 Chirp 3 音声生成 ffmpeg 合成

フロントエンド

バックエンド

> GEMINI

Tips for getting started:

- /help for more information.
- Ask coding questions, edit code or run commands.
- Be specific for the best results.

Using 2 GEMINI.md files and 4 MCP servers (ctrl+t to view)

YOLO mode (ctrl + y to toggle)

> Type your message or @path/to/file

~/code/video-studio

no sandbox (see docs)

gemini-2.5-pro (100% context left)

手順

- 1 <u>vertex-ai-creative-studio</u> をクローン
- MCP の設定を行う
- 3 シナリオを作成する
- 4 Gemini CLI にビデオを作成してもらう
- 5 XXX
- 6 XXX

